

類別 器具器械(32)医療用吸引器(手動式のものに限る。)

一般的名称等 手動式医療吸引器

販売名 **アンブ マキシ サクションポンプ(サクションブースタ)**

**【警告】**

ご使用前に本書を熟読し、本器の特徴・機能を十分に理解してください。  
 咽頭・気管吸引手技について十分に訓練を受けた方のみ、本器をご使用ください。  
 洗浄・殺菌・消毒・再組立は、本書に従ってください。  
 また、洗浄・再組立の後は、正しく機能することを本書記載方法により必ず確かめてください。  
 本書に記載されていない方法で、本器を絶対に操作・調整しないでください。  
 本来の使用目的や使用環境の範囲、またその条件下における性能・強度・耐久性などを著しく逸脱して本器を使用しないでください。

**【操作方法又は使用方法等(用法・用量を含む)】**

**1. 救急蘇生中の使用**

サクションポンプのチップをブースタのアングルコネクタ(角度の付いたコネクタ)につないでください。吸引中は吸引容器をできる限り低い位置にしてください。吸引を始めるために、写真の様にコネクタ口を閉じます。吸引を止める時は、コネクタ口を開放してください。



**【形状・構造等】**

**1. 構成**

サクションブースタ、添付文書



**2. 気管内挿管中の使用**

気管内チューブを取り付け、さらにサクションポンプのチップをブースタのアングルコネクタ(角度の付いたコネクタ)につないでください。必要ならば、気管内チューブにスタイレットを入れてください。その場合、ストラップを押し下げ、ブースタのキャップにある口からスタイレットを押し込んでください。

気管内チューブを口に入れた時に、コネクタを写真の様に閉じると吸引が行われます。気管内チューブが咽頭まで届いた時は、コネクタ口を開くことで吸引が終わります。気管内挿管中に嘔吐が起きた場合、直ぐに吸引してください。挿管が終わったなら、直ぐにブースタを外し、気管内チューブを適切な機器、回路につないでください。挿管中に吸引を行った場合、気管内チューブとこのブースタを新しい製品と交換してください。



**【性能、使用目的、効能又は効果】**

**1. 使用目的**

アンブサクションブースタは、吸引ポンプと患者さんの間に入れて使用します。このブースタを使うことで、吸引スピードが大幅に向上します。また、通常の吸引器では吸い取れない大きな物も吸引することができます。

嘔吐の可能性の高い患者さんへの気管内挿管をする場合にも、使用できます。

気管内挿管時や嘔吐時には、通常の吸引チューブの代わりに、気管内チューブをこのブースタに取り付けることができます。

**2. 仕様**

吸引口の大きさ	6mm吸引チューブ(吸引チップなし)	9mm吸引チューブサクションブースタ付き
疑似嘔吐物	7.3秒	1.1秒
エンジンオイルSAE10	10.8秒	1.3秒
血液(37 )	2.7秒	0.9秒

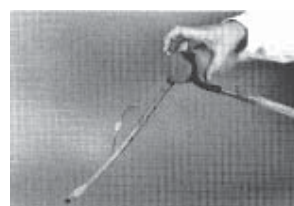
注：疑似嘔吐物：ベビーフード(野菜とレバーの混合物)と水を1:1で混ぜ合わせたものです。

**使用したサクションポンプ**

吸引チューブ : 6 × 1300mm  
 陰圧(吸引圧) : 300mmHg  
 液 : 150mL(室温 20 )

**【使用上の注意】**

ガス滅菌できません。滅菌・消毒時は、オートクレーブ(121 )煮沸消毒、薬液消毒してください。吸引物からの感染の無いように、手袋を使うなど、注意して取り扱って下さい。



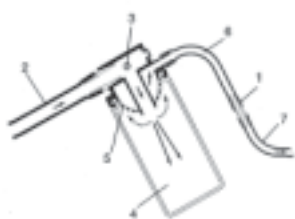
患者さんへの使用前および洗浄・分解・組立後は、正常に機能することを機能点検(裏面参照)で確認。

### 【作動・動作原理】

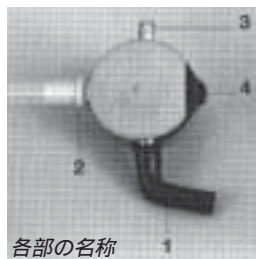
このブースタをサクシオンポンプのチップ(1)に取り付けてください。開放口(3)を閉じた時に液体や吸引物はサクシオンチューブ(2)から吸引されます。吸引された液体や吸引物は、吸引容器(4)に溜まります。一方、吸引されたエアはフィルタ(5)、吸引チューブ(6)を通過し、サクシオンポンプ(7)に流れます。

吸引容器(4)が一杯になった場合、吸引された液体は吸引チューブ(6)を通り、サクシオンポンプの吸引ボトルに溜まります。堅い吸引物は、フィルタにより吸引容器(4)の中にとどまります。

サクシオンチューブ(2)の径が大きい(9mm)ため、吸引フローが増加します。



作動原理



各部の名称

### 各部の名称と機能

アンブサクシオンブースタは250mLの吸引容器(キャップ付き) 開放口(2個) コネクタ(2個)が付いています。キャップと吸引容器の間にフィルタ(ステンレス製)がついているため、吸引物の粒子はブースタからサクシオンポンプに行きません。

アングルコネクタ:サクシオンポンプのチップを取り付けるコネクタ。

フィッティング(15mmテーパ):気管内チューブあるいはサクシオンチューブ接続口。

コネクタ:吸引の開始/停止用。

スタイレット口:ストラップが付いています。

左利きの方が使用する場合、アングルコネクタは(1)の位置から(3)へ移動できます。

### 【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

環境温度:保管 - 20 ~ + 70、使用 - 20 ~ + 50

### 【保守・点検に係る事項】

#### 1. 使用者による保守点検事項

##### <内容物の廃棄>

洗浄、消毒、滅菌の前にパーツを分解してください。

##### <手洗い>

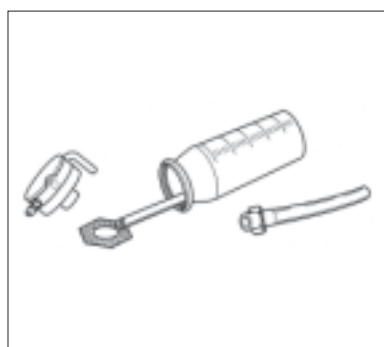
温水、中性洗剤でパーツを洗浄してください。

十分に濯いで、洗剤が残っていないようにしてください。

再度組み立てる前にパーツは乾燥させてください。

##### <器械洗浄>

器械洗浄をする場合、医療機器、麻酔器具の洗浄用に作られた洗浄器を使ってください。麻酔器具を洗浄する時と同じ方法で洗浄してください。再度組み立てる前にパーツを常温まで戻し、乾燥させてください。



### <オートクレーブ>

パーツは個別に121 のオートクレーブにかけられます。

### <薬液消毒>

使用する薬液は、前に記載されている材質に適合したものを使用してください。使用する薬剤の製造業者の指定に従ってください。薬剤の混合、消毒時間については特に注意してください。

消毒後は、清潔な水で全てのパーツをよく濯ぎ、薬剤が残らないように注意してください。薬剤が残った場合、パーツの動きが悪くなったり、寿命が短くなります。

再度組み立てる前に、乾燥させてください。

### <機能点検>

各パーツが正しく取り付けられていることを確認。

アングルコネクタをサクシオンポンプからのチューブにつないでください。

開放されているコネクタ口を塞いでください。

吸引が起こることを確かめてください。

### <保管>

紫外線や直射日光を当てないでください。

## 2. 業者による保守点検事項

耐久性に優れ、定期点検は必要ありません。

## 3. スペアパーツ

	C/N	名称
1	102 03 010	吸引容器
2	102 03 102	マニホールドパイプ
3	102 03 103	キャップ
4	102 03 104	ストラップ
5	102 03 105	チューブコネクタ(2個)
6	102 03 106	ブッシング(軸受け)
7	102 03 107	アングルコネクタ
8	102 03 108	吸引チューブ

## 4. 材質

吸引容器(ポリプロピレン) キャップ(TPRラバー) フィルタ(ステンレス) コネクタ(真鍮(ニッケルメッキ)) チューブコネクタ(EPDMラバー) ストラップ(EPDMラバー) 吸引チューブ(PVC)



### 【包装】

1個/箱。

### 【主要文献及び文献請求先】

アイ・エム・アイ株式会社

343-0824 埼玉県越谷市流通団地3-3-12

: 048-988-4411 (代)

E-mail: support@imimed.co.jp

### 【製造業者又は輸入販売業者の氏名又は名称及び住所等】

輸入業者の名称: アイ・エム・アイ株式会社

住所: 343-0824 埼玉県越谷市流通団地3-3-12

輸入先国名: デンマーク

企業社名: アンブ社\*